

都万小学校 目指す児童の姿 系統表〔算数〕 上:具体的な子どもの姿 下:手立て

目指す児童の姿		低学年	中学年	高学年
主体的に課題に取り組む児童	学ぶことに興味や関心を持って取り組む子	・リーダーが簡単な進行役をする。 ・自分の考えを進んで発表する。	・リーダーを中心に、教師のサポートを受けながら、自分たちで授業を作っていく。 【個人思考、おなやみ、ペア、全体、本時のまとめまで】	・リーダーを中心に、自分たちで授業を作っていく。 【個人思考、おなやみ、ペア、全体、本時のまとめまで】
		☆児童が学習の流れが分かりやすいように、簡単な進行表を配布する。 ☆発表する内容を1度ペアで伝え合う時間を設け、自分の考えを発表しやすくする。	☆進行表沿って、リーダーが進められるようにする。(流れが分かるもの、ある程度セリフの書いたもの)	☆基本的に教師の出番を最小限(教師の出番は最初と最後のみ)に減らし、児童中心に進められるように、リーダーと事前に学習の流れについて打ち合わせを行う。
	見通しを持って、粘り強く取り組む子	・どんな方法を使うと解けそうか、予想する。〔問題把握〕	・どんな方法を使うと解けそうか予想したことをもとに、教師と一緒にめあてを立てる。〔問題把握〕	・既習事項や課題把握の場面から、めあてを立てる。〔問題把握〕
		☆ヒントとなる解く方法を掲示し、選択できるようにする。 例:図、絵、具体物を使う	☆めあてを作る参考になる例(〇〇の△△する方法を考えようなどの型)を紹介する。	☆既習事項を思い出せるように、前時までの学習のまとめを掲示する。
		・分からないことを先生に聞く。〔お悩み相談〕 ・最後まで課題に取り組む。	・お悩み相談の時間に、友達に分からないことを聞く。〔お悩み相談〕 ・ペア学習で課題について一緒に考える。〔ペア学習〕	・お悩み相談の時間に、どこまでわかって、どこが分からないのかははっきりさせて全体の場で聞く。 〔お悩み相談〕 ・個人思考では考えが持てなかった児童もペア学習では自分の考えをもつ。〔ペア学習〕
		☆ヒントなどを提示して自力で解決できるようにする。	☆自力解決の時間で個別に関わりながら何が分からないかを明確にしておく。 ・発表者とホワイトボードにまとめる人の2役に役割分担して、責任を持たせる。	☆自力解決の時間で個別に関わりながら何が分からないか、どこまで理解しているかを明確にしておく。 ・発表者とホワイトボードにまとめる人の2役に役割分担して、責任を持たせる。
	課題解決のために、様々な方法を考える子	・自分の考えを式、図(絵)、理由をつけてノートに書く。 〔個人思考〕	・1つのやり方だけでなく、他の方法でも解けないかを考えて、ノートに書く。 〔個人思考〕	・1つのやり方だけでなく、他の方法でも解けないかを考えて、ノートに書く。 ・自分の解き方を相手にわかりやすく説明するために図や絵を用いてノートに書く。〔個人思考〕
		・学習の流れに沿ったノートの使い方を指導する。	・1つのやり方が解けた児童には、他の方法でもとけないか声をかける。	・1つのやり方が解けた児童には、他の方法でもとけないか声をかける。
	次につなげたり、実生活と結びつけたりする子	・学習したことを使って、練習問題を解く。 〔練習問題〕	・まとめ後の練習問題では本時のポイントを使って課題を解く。〔練習問題〕	・まとめ後の練習問題では本時のポイントをつかって課題を解き、解き方を自分で説明する。〔練習問題〕
		・学習のまとめを、視覚的に分かりやすく残す。	・学習のまとめを、視覚的に分かりやすく残す。	・学習のまとめを、視覚的に分かりやすく残す。 ・個別に声をかけ、解き方を説明するように促す。
伝え高め合う児童	相手に分かりやすく伝える子	・相手を見て話す。 ・声の大きさに気を付けて話す。 ・指をさしながら話す。 〔ペア〕〔全体共有〕	・式とポイントを結び付けて話す。 ・相手に伝わっているか聞き手を意識しながら話す。 〔ペア〕〔全体共有〕	・注目してほしいポイントが相手に伝わるように話す。 ・聞いている人とやり取りしながら言いたいことが伝わっているか確認しながら話す。〔ペア〕〔全体共有〕
		・子どもの良い姿を評価し、授業の最後に子どもに伝える。 ・発表の仕方の掲示物で確認する。	・解き方のポイントのを見つけ方を継続して指導する。	・相手に伝わる話し方の例を示し、毎時児童の発表について相手意識を持てているか評価する。
		・式、図(絵)を書く。	・式、図(絵)、ポイント(要点を絞って)を書く。	・式や図に言葉で補足する。 ・大事なところを色分けして書く。
		・ノート、ホワイトボードの書き方が分かるように例示しながら繰り返し指導する。	・解き方のポイントのを見つけ方を継続して指導する。	・言葉の補足の仕方、色分けの仕方を継続して指導する。
	相手の考えを分かろうとして聞ける子	・相手の方を見て話を聞く。 ・最後まで話を聞く。 ・分からないことがあれば質問する。 〔全体共有〕	・分からないことをはっきりさせて質問する。 〔全体共有〕	・友達の意見に対して、どこまでわかっているのかを明確にしながら分からないことを質問する。 〔全体共有〕
		・普段から聞き方の指導を行う。 ・質問してきた児童を評価する。	・自分の考えと比較しながら聞く指導を行う。	・自分の考えと比較しながら聞く指導を行う。
	自分の考えと比べ、自分の考えを確かなものにする子	・自分の考えが間違えていた時には、友達の考えを聞いてノートに訂正する。 〔全体共有〕 ・分かったこと、大事だと思ったことを発表する。〔まとめ〕	・友達の考え(ポイント)の良いところをノートにメモする。〔全体共有〕 ・ポイントの言葉を使って、まとめを発表する。〔まとめ〕	・自分の考えと相手の考えを比べながら聞き、そのちがいをノートにまとめる。〔全体共有〕 ・まとめの場面で様々な意見の中から、めあてにあった大事なポイントをおさえ発表する。〔まとめ〕
		・ノートの使い方のモデルを示す。 ・よいノートを紹介する。	・ノートの使い方のモデルを示す。 ・よいノートを紹介する。	・ノートの使い方のモデルを示す。 ・よいノートを紹介する。
	よりよい解決策を考えている子	・様々な考えの中から、よりはかせ(早くて簡単に正確に)にできるものを選ぶ。 〔全体共有〕	・様々な考えの中から、よりはかせ(早くて簡単に正確に)にできるものを選び、その理由を説明する。〔全体共有〕	・様々な考えの中からよりはかせでできるものを選び、考え方の違いを入れながら理由を説明する。〔全体共有〕
		・よりよい解決策が考えられるように、児童の考えを分類しながら整理して板書する。	・よりよい解決策が考えられるように、児童の考えを分類しながら整理して板書する。	・よりよい解決策が考えられるように、考え方の違いが明確になるように、児童の考えを分類しながら整理して板書する。

